



# 学童だより

平成30年9月18日  
No.11  
富岡児童クラブ

2学期がスタートして2週間が経ちました。

夏休みの生活から学校生活リズムには慣れてきたでしょうか。新学期早々の学童では、「宿題したくない」という子もいましたが、「終わらせてから遊ぼう」と声をかけて、なるべく終わらせるようにと努めました。新しい単元の勉強も始まっています。学童で宿題は終わっても、必ずお家の方も関心を持って見てあげてください。次回の学童便りでは、保育園のふれあい運動会での活躍ぶりをご紹介します。

## なににでも「いやだ!」は ありますか?

最近子ども達がよく言うのが「いやだ!」の言葉です。

「片づけておやつにしましょう」「いやだ!」「じゃあ、食べませんか?」「いやだ」

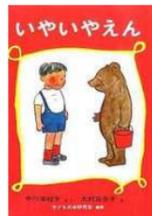
「宿題をしてからあそぼうね」「いやだ!」

おやつ後、園庭で遊んだ後「もう約束の時間になったので下に降りましょう」「いやだ!」

この会話、どう思われますか?他の場面でも聞かれるのですが、あまりにも「いやだ」で済ませることに会話力も心配ですが、自分のしたいよう行動していることに驚きます。それが通らないとなると「いやだ」が出るのです。あまりにも「いやだ!」が多いので「じゃ『いやだ』のお部屋を作りましょうか?」「いやだ!」が返ってきます。

4歳児のしげる君が主人公の「いやいやえん」という童話があります。中川李枝子作、大村百合子作です。今から、56年前に出版されて、いまだにロングセラーを続けている本です。お母さん方も子どもの頃読んでもらった覚えはありませんか?富岡保育園でも4、5歳児になると必ず毎年読んでいるのですが、もう一度学童さんにも紹介したいと思っています。

また、言葉足らずのことが多く、片づけないといけないことを友だちが教えようとしているのに「バカ」と言ってケンカになったり、強く言ってしまったり、いきなり手や足が出たりなどがあります。こんな風に言われたら相手は嫌だろうなど考えると、嫌な言葉は出ないと思うのですが、そこはまだまだ知らせていけないといけなようです。何か良い手立てはありませんか?一緒に考えていきましょう。



壁新聞

こんな子どもに育てたい

- 一 泥んこ遊び 砂遊び
- 二 遊びは何でも大好きで
- 三 友だちがたくさんいて
- 四 虫や動物、花が大好きで
- 五 時々けんかやいじめたり、いじめられたりする
- 六 おかしい時は大笑い
- 七 悲しい童話、紙芝居には涙ぐみ
- 八 叱られるとしゅんとなり、寝めえると有頂天にならず喜ぶ
- 九 返事や挨拶しつけのけじめだけはしっかりして
- 十 目はキラキラ輝いている

子に育てたい

高橋系吾

道灌山学園創設者である高橋系吾先生がこれまで残してこられた「ことば」を、壁新聞として紹介してあります。「こんな子どもにそだてたい」です。本当だな?と思ったので皆さんにもお伝えしたいです。

# 育児情報

新聞親しむと・・・好成绩

学力テスト分析 経済格差克服も 文科省 熊日新聞 平成30年6月28日

文部科学省は27日、全国学力テストを基にした調査分析を公表した。日頃から本や新聞に親しむことや、規則正しい生活を促している家庭の子どもは、親の収入や学歴が高くなくても好成绩の傾向があり、子どもの自制心や意欲の強さと学力の間に穏やかな関係性があることも浮かんだ。家庭の経済状況などによる子どもの学力格差が指摘される中、取組み次第で不利を克服できる可能性が示された形だ。

前回の2013年度調査と同様、親の収入や学力が高いほど学力が高いとの結果も判明。ただ、今回の調査で格差縮小につながる変化は見られなかった。文科省の担当者は「学力向上に有効な取り組みを家庭や学校で粘り強く続け底上げを図っていく」としている。

17年4月に小学6年と中学3年を対象に国語、算数・数学で実施した学テの結果と、抽出校の保護者17万人へのアンケートを分析。保護者の年収や学歴といった家庭の社会・経済的背景を指標化して4段階に分け、テストの平均正答率を比べた。

全教科で階層が高くなるほど正答率が上昇。特に数学Aでは、最も高い層で正答率77、1%だったのに対し、最も低い層は52、8%となり、大きな差が開いた。

一方、最も低い層の中で学力が全体の上位25%に入った子どもの家庭を分析すると「小さいころ絵本の読み聞かせをした」「本や新聞を読むように勧める」「毎日朝食を食べさせる」「計画的に勉強するよう促す」一などの質問に「当てはまる」と回答した割合が、上位でない家庭より5、8~12、0ポイント高かった。

自制心や意欲、忍耐力を示す「非認知スキル」と呼ばれる子どもの能力と正答率の高さには穏やかな相関関係があり、中3よりも小6の方に強く表れた。非認知スキルと家庭の社会・経済的背景とはあまり相関がみられなかった。

## 不利を克服し、学力が上位となった子どもの家庭の特徴

- ・ 毎日朝食を食べさせている
- ・ 本や新聞を読むように勧めている
- ・ 小さいころ絵本の読み聞かせをした
- ・ 計画的に勉強するよう促している
- ・ PTA活動や保護者会などによく参加する



## ジャンボシャボン玉を作ったよ!

土曜日に来た子ども達と「ジャンボシャボン玉」を液作りからしました。水、洗濯のり、食器用洗剤を使って、分量もクイズ形式で出すと楽しんで考えました。

液が出来上がってから園庭へ行き、早速大きなシャボン玉が出来るか挑戦しました。最初は出来ず「できんよー」と言っていたのですが、諦めずしていると何人か成功して「見て見て」と歓声があがりました。子ども達が思わず遊びたいと思えるような活動を一緒にしていきたいです。

